



菅原 道雄 議員

議員 試験放送を繰り返して改善を試みているが一向によくならない。今後の対応はどうするのか。

町長 屋外で防災放送が聞こえにくい状況の改善について昨年度末から本年6月にかけて、各地区の状況を区長を通じて個別の状況をまとめ、それを元に現地で一本一本について調査と保守調整を行った。内容は、63基についてスピーカーの方向角度、音量の調整と交換、増

設も行い、調整前と後を比較し、49基が改善、残り14基については一部改善ができない方向である。さらに分析をしてスピーカーの増設、アンプの交換、放送塔の追加設置で解消できると判断された場合は予算化して対応する。

しかし、当町は山間部であり、気象状況や地形が原因で全ての地区ではつきり聞き取れる状態にするにはどうしても無理があることを理解願いたい。聞き

いつ良くなる防災放送 空き家等の適正管理に関する条例の運用状況は

町長

- 49基が改善、14基は今後とも調整
- 34件に指導書を送付

取れなかった場合の確認の方法について、放送した内容を町ホームページと携帯サイト・さらに9月中テレビユー山形のデータ放送に掲載予定である。

議員 空き家等の適正管理に関する条例を施行して1年間経過しての運用状況は。

町長 平成24年11月に地区から寄せられた情報をもとに破損が著しく、倒壊の危険がある34件の物件について現地調査を行い、18件の

空き家等が危険性の高い物件と判断し、所有者・管理者に対して12月初めに指導書を送付した。

迎える前に調査を行い、指導・助言を行う。



防災放送塔

井上町政3期目について

町長

□地域の特色を活かしたまちづくりに努める



佐藤 勝徳 議員

議員 平成25年2月4日の山新の報道によれば、町長自身の後援会で「まだ達成していない課題がある、3期目に挑戦し、解決に向けて取り組んでいきたい」と話し、2期目同様、早々にマスコミに3期目への立候補を明らかにした。

この8年間で井上町政が掲げる「活力あるまちづくり」「将来に希望が持てるまちづくり」が達成されたのか。井上町長が示してきた公約の達成・実績をどのように評価しているのか、どのような課題が達成されていないのか、その課題解決にどう取り組むつもりなのか伺いたい。

町長 平成17年11月の就任1期目には公約である、「町長の報酬20%カット」「町長車の

廃止」「副町長を置かない」を始め、「職員地域担当制の創設」「職員消防隊の組織化」「いきいきサロンの普及」「たんぽぽ子ども園開設」「保育所・こども園児童通園バス無料化」「妊婦健診の公費負担」「乳幼

児から高校生までの予防接種無料化」「病院へのMRI装置導入」「内科医着任」「産業振興条例制定」「メタルプロダクツの誘致」「真室川ブランド品の開発」「NPO法人設立」「駅西住宅建設」「学校図書の実施」

「町単独の学習指導員・支援員の配置」「町民球場夜間照明の整備」「中学校の給食導入」等を実施した。2期目には私の理念信条、公約、政策、町への思いを第5次総合計画の基本目標を達成するため各施策に盛り込んでいく。今後、町が持続的発展を遂げるために、限られた財源、資源を活用し、地域の特色を生かした施策を立案し、総合的、体系的に構築して行く。



平成21年度に開園したたんぽぽこども園